

# 南かがやけ！海田南っ子

No.3

～ 昇月～  
May

令4年5月9日  
海田町立海田南小学校  
海田町大立町12番5号



URL: <https://kaitaminami.wordpress.com/>

海田南小学校

検索



TEL 822-6776 FAX 822-3229

E-mail: [kaitaminami-es01@kaitaminami-e.ed.jp](mailto:kaitaminami-es01@kaitaminami-e.ed.jp)

4月末には家庭訪問への御協力ありがとうございました。5月6日には1年生を迎える会、遠足を無事実施できました。

コロナ禍により水泳学習（低学年の水遊びを含む）の実施を見合わせておりましたが、今年度、民間プールも利用して2年ぶりに実施します。安全が第一です。健康管理等に御協力ください。

## 水泳学習のお知らせ

- 実施回数・移動方法
  - 今年度の水泳学習のうち3回はフィッタ坂で、2回は学校プールで行います。
  - フィッタ坂にはバスで移動し、6月から9月の火・木曜日の午前中に、それぞれ第1便で2学級、第2便で2学級、計4学級行きます。
  - 感染症の拡がりか心配な時のほか、学校プールで水温・気温が十分でない時、雷・大雨等の気象警報が発令された時等、当日の判断で実施しないことがあります。
- 健康観察
  - 水泳学習の日には水泳健康観察カード（後日配付）に必要な事項を記入の上、必ず持たせてください。カード忘れ、未記入、サイン（印）もれの場合は水泳学習に参加できません。
  - 体調不良等でバス乗車が難しい時は、救急搬送か保護者迎えによる早退とします。御協力の程、よろしくお願いいたします。
- 持ち物
  - 本日配付した「水泳帽子と水着についてのお願い」を確認の上、準備をお願いします。フィッタ坂では水着の上に羽織るもの（ラッシュガード・Tシャツ等）は着用しません。学校プールではファスナー・フードがなければ着用可能です。
  - 海田中学校で水泳学習を実施しないこともあり、6年生に限ってはスクール水着でなくても、学習にふさわしい、華美でないものであれば使用を許可します。
  - プールサイドに、バスタオル・マスク・替えマスク・水筒を ひとまとめにして持ち込むための袋（レジ袋可）も用意してください。
  - 持ち物すべてに学年・学級、氏名を大きく、はっきりと書いてください。
- 見学時の対応
  - 体調不良、水着や水泳健康観察カードの忘れ等で水泳学習ができない場合、学校では基本的にプールサイドで見学しますが、フィッタ坂では安全上の理由から見学ができないため、学校に残って別の学習をします。忘れ物を届けていただいても送迎バスに間に合わない場合は参加できません。
- フィッタ坂での保護者参観
  - フィッタ坂での参観は自由です。お子様の水泳学習の時間に【ひと家庭1人】、海田南小の入学用名札を持参の上、直接現地にお出かけください。撮影はできません。
  - 参観場所（ギャラリー）の座席は一つおきに使うため、1学級分もありません。参観多数の場合は、短時間で交代していただくなど、譲り合って御覧ください。



《フィッタ坂の感染症対策》…今後の感染症の拡がり次第で変えることがあります。

#### 館内での対策

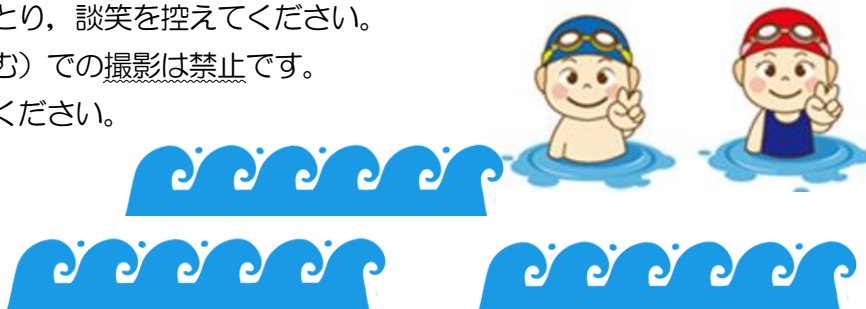
- 入館時に体温測定を実施し、37.5℃以上の熱がある場合は入館できません。
- 入館時に手指消毒を行い、更衣室・プールサイドではマスクを着用します。
- 更衣室での混雑防止対策を行います。
- プールサイドへのバスタオル・マスク袋・替えマスク・水筒は、名前を書いた袋に入れて一人ずつ持ち込みます。
- 学校職員・フィッタ坂コーチはマスク着用で指導します。

#### 送迎バスでの対策

- 児童乗車前に窓を開けての換気、座席消毒を行います。
- 車内ではマスクを着用し、会話を控え、換気をします。
- 体調不良等で乗車が難しい場合は、学校又はフィッタ坂に残ります。  
容態によっては救急搬送、保護者迎えによる早退をお願いします。

#### ギャラリー見学ルール

- 参観はひと家庭1人です。お子さんの水泳学習の時間だけ参観できます。
- 参観希望の保護者は海田南小の保護者名札を持参してください。  
名札を忘れた場合はフロントで入店許可書をもらってください。
- 体温が37.5℃以上の方は来館できません。
- 入館時は必ずマスクを着用し、体温チェックと手指のアルコール消毒にご協力ください。
- 観覧席では互いの距離をとり、談笑を控えてください。
- ビデオ、カメラ（携帯含む）での撮影は禁止です。
- 参観中のお食事はご遠慮ください。



## 注意！写真・動画投稿サイト

先月、聴き取りをしたところ、おうちの人が知らないところでYouTubeやTikTok等の写真・動画投稿サイトを使っている子が何人かいました。また、子供たちだけで撮影・投稿していたケースのほとんどは、自分用に買ってもらったスマートフォンを使っていました。

学校では、そのようなサイトの危険性を説明した上で、おうちの人と一緒に使うよう指導しています。

スマートフォン等の扱いについては各家庭でルールを決めておられると思いますが、今一度、安全な使い方について御指導ください